

技術・業務研究発表会を開催！

～「来るべき巨大地震に備えて」パネル展も～

四国地方整備局は、地方公共団体等の関係機関とともに四国の社会資本整備等に係る調査・研究成果を発表・意見交換し、技術力の向上や行政への反映を行うことを目的に「四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」を開催します。

今回は、民間の最新技術を学ぶ「四国建設広報協議会技術PR発表会」と「『来るべき巨大地震に備えて』パネル展」も併せて開催します。一般の方の聴講も可能です。

1. 日時：平成25年7月23日（火）9：00～17：00
24日（水）8：50～15：45

2. 場所：高松サンポート合同庁舎（高松市サンポート3番33号）
第1会場【アイホール】
第2会場【1306・1307会議室】
パネル展【アイプラザ】

3. 内容：発表課題・・・・・・・・・・・・・・・・50課題
（国44、県2、水資源機構1、西日本高速道路3）

- 1. イノベーション部門・・・・・・・・9課題
（新技術の公共事業での活用、設計・施工の新たな工夫等）
- 2. アカウンタビリティ部門・・5課題
（維持管理や災害対応に関する広報、合意形成、住民との協働、コミュニケーション等）
- 3. 一般部門・・・・・・・・36課題
（防災、交流・連携、環境や業務改善等、
1. 2. に含まないもの）

※詳細はプログラムをご参照下さい。

平成25年7月16日
国土交通省四国地方整備局

問い合わせ先

| | | | |
|-------|------------------------|--------|----------------|
| 国土交通省 | 四国地方整備局 | | |
| 企画部 | 技術企画官 | ごとう 後藤 | ふみお 文男（内線3126） |
| 企画部 | 企画課長補佐 | ほりけ 堀家 | ただし 正（内線3154） |
| TEL | (087) 811-8308（ダイヤルイン） | | |

平成25年度 四国地方整備局管内 技術・業務研究発表会

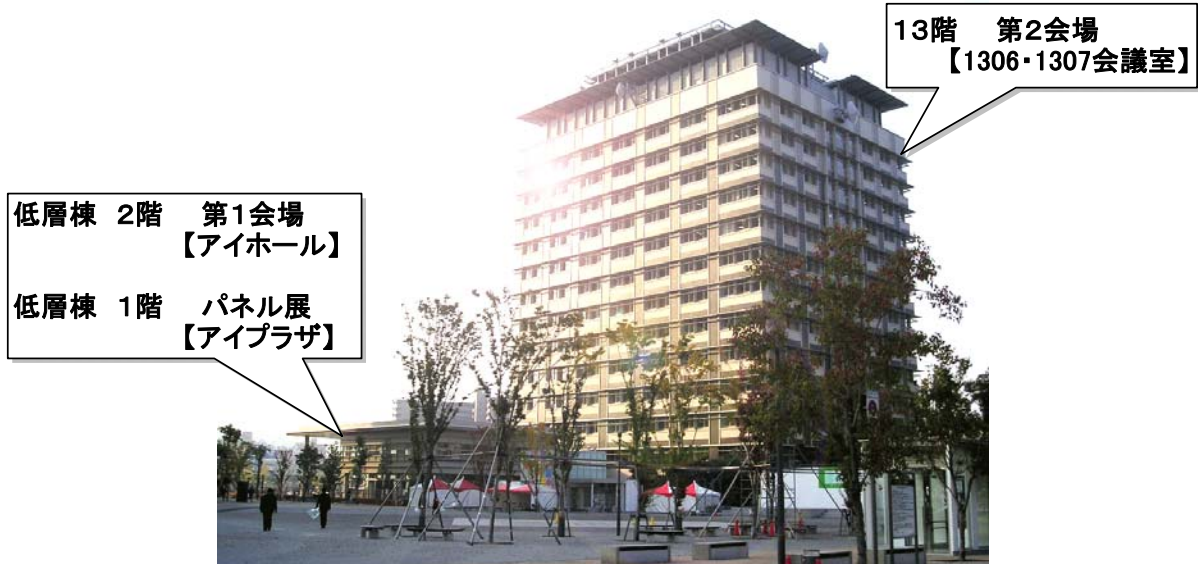
日時：平成25年7月23日（火）・24日（水）

場所：高松サンポート合同庁舎

第1会場【アイホール】

第2会場【1306・1307会議室】

高松市サンポート3番33号
TEL087-851-8061(代)



平成25年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会 プログラム

7/23(火)

第1会場【アイホール】

9:00 開会

9:00～ 9:10 開会挨拶

9:20～10:35 一般(交流・連携) 4課題

10:45～12:00 一般(業務改善等) 4課題

13:30～14:30 一般(人と自然) 3課題

14:40～15:35 一般(人と自然) 3課題

15:45～16:45 一般(人と自然) 3課題

第2会場【1306・1307会議室】

9:20～10:35 一般(安全・安心) 4課題

10:45～12:00 一般(安全・安心) 4課題

13:15～14:30 一般(安全・安心) 4課題

14:40～15:35 一般(安全・安心) 3課題

15:45～17:00 一般(安全・安心) 4課題

7/24(水)

第1会場【アイホール】

8:50～ 9:45 イノベーション 3課題

9:55～10:55 イノベーション 3課題

11:00～12:00 イノベーション 3課題

13:00～15:00 同時開催

四国建設広報協議会技術PR発表会

15:10～15:20 講評

15:20～15:35 表彰式

15:35～15:45 閉会挨拶

15:45 閉会

第2会場【1306・1307会議室】

8:50～ 9:45 アカウンタビリティ 3課題

9:55～10:40 アカウンタビリティ 2課題

23日、24日
開催期間中
【アイプラザ】にて
**「来るべき巨大地震に
備えて」**
パネル展開催

平成25年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会 発表リスト

7月23日(火) 第1会場【アイホール】

| 部門 | NO | 発表課題名 | 発表者 | | |
|-----------------------------|----|--|-------------------------------------|--------|-------|
| | | | 所属 | 役職 | 氏名 |
| 一般部門(交流・連携による四国づくり) | | | | | |
| 9:20～10:35 | | | | | |
| I-1 | | 国際幹線航路の維持保全について ～海上輸送の大動脈を守る～ | 四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所 工務課 工務係 | 係員 | 藤井 愛彦 |
| I-5 | | 新仁淀川大橋における手延べ機を用いた送出し架設の事前検討と仕組み | 四国地方整備局 高知河川国道事務所 | 建設監督官 | 林 龍彦 |
| I-9 | | 鳴門池田線菅江谷川渡河橋におけるニューマチックケーソン工法について | 徳島県 西部総合県民局 県土整備部(美馬)道路担当 | 主事 | 石川 智裕 |
| I-13 | | 民間プローブデータを活用した交通流動の把握手法について | 四国地方整備局 香川河川国道事務所 道路調査課 | 専門官 | 萱原 一郎 |
| 一般部門(業務改善等への取り組み) | | | | | |
| 10:45～12:00 | | | | | |
| I-17 | | トンネル維持管理費の節減対策検討について | 四国地方整備局 四国技術事務所 施工調査・技術活用課 機械調査係 | 機械調査係長 | 懸谷 実 |
| I-21 | | 職員による橋梁点検の取り組み | 高知県 土木部 道路課 保安担当 | 主幹 | 近藤 年猪 |
| I-25 | | 地域の回覧板を利用した広報により、事業説明から用地調査まで円滑にできた事例の報告 | 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 用地第一課 河川用地第一係 | 係員 | 潮田 卓也 |
| I-29 | | 不在者財産管理人を選任して効率的な用地取得を行った事例 | 四国地方整備局 中村河川国道事務所 用地課 | 係員 | 岸上 和也 |
| 一般部門(人と自然にやさしい四国づくり) | | | | | |
| 13:30～14:30 | | | | | |
| I-33 | | 循環型社会形成にむけての香川の取組 (ROADのR) | 四国地方整備局 香川河川国道事務所 交通対策課 | 専門職 | 瀬戸 寿和 |
| I-37 | | 横断歩行者・自転車感知式注意喚起システム試験導入の報告 | 四国地方整備局 土佐国道事務所 管理第二課 | 係員 | 関家 直樹 |
| I-41 | | 浄化槽余剰汚泥量削減に向けた取組み | 西日本高速道路(株)四国支社 香川高速道路事務所 施設課 | 担当 | 戸野 宜征 |
| 14:40～15:35 | | | | | |
| I-45 | | 那賀川の再生を目指して ～下流河川への土砂還元の取組(中間報告)～ | 四国地方整備局 那賀川河川事務所 管理課 | 専門官 | 青木 朋也 |
| I-49 | | 重信川自然再生事業10年を振り返って | 四国地方整備局 松山河川国道事務所 調査第一課 | 専門官 | 柴田 治信 |
| I-53 | | サンパの繁殖に対する近隣工事影響評価手法の確立に向けた事例検討 | 四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所 調査設計課 調査係 | 係員 | 安部 雅宏 |
| 15:45～16:45 | | | | | |
| I-57 | | 横瀬川ダム建設事業におけるアユの生態調査について | 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所 調査設計課 調査係 | 係員 | 村上 睦実 |
| I-61 | | 銅山川における河川環境改善の取り組みについて(中間報告) | 四国地方整備局 吉野川ダム統管理事務所 管理課 管理係 | 係員 | 山本 裕也 |
| I-65 | | 海底ゴミ回収技術の開発について | 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 海洋環境課 事業係 | 事業係長 | 村井 克行 |

7月24日(水) 第1会場【アイホール】

| 部門 | NO | 発表課題名 | 発表者 | | |
|------------------|----|--|--------------------------------------|--------|-------|
| | | | 所属 | 役職 | 氏名 |
| インベーション部門 | | | | | |
| 8:50～9:45 | | | | | |
| I-69 | | CIMモデル事業報告 立江瀬軟弱地盤対策検討業務 | 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 道路調査第二課 道路調査係 | 道路調査係長 | 西丸 範生 |
| I-73 | | 家屋近接地での場所打ち杭工法(低振動・低騒音)の報告 | 四国地方整備局 松山河川国道事務所 工務第二課 道路工務第一係 | 係員 | 木藤 慎也 |
| I-77 | | 硬質岩盤地での割岩工法によるトンネル掘削 | 四国地方整備局 土佐国道事務所 奈半利国道出張所 技術係 | 技術係長 | 西森 敬洋 |
| 9:55～10:55 | | | | | |
| I-81 | | ETC設備の高度化に向けた取組み | 西日本高速道路(株)四国支社 徳島高速道路事務所 施設課 | 担当 | 長尾 和哉 |
| I-85 | | 港湾における埋立地の簡易な液状化予測手法の報告 | 四国地方整備局 高松港湾空港技術調査事務所 技術開発課 技術開発係 | 係員 | 江崎 圭祐 |
| I-89 | | 土器川野津床止下流一連区間における河床低下(洪積層露出)への対応検討事例の報告 | 四国地方整備局 香川河川国道事務所 計画課 企画係 | 企画係長 | 藤井 和志 |
| 11:00～12:00 | | | | | |
| I-93 | | 樹脂固定法によるすべり面の特定について ～大渡ダム(秩父帯)の地すべりを例として～ | 四国地方整備局 大渡ダム管理所 | 専門職 | 澤田 伸一 |
| I-97 | | 長径間ゲート振動現象における振動特性と抑制対策 | (独)水資源機構 旧吉野川河口堰管理所 施設管理グループ | — | 江田 友也 |
| I-101 | | 新型軸重計開発の取組み | 西日本高速道路(株)四国支社 香川高速道路事務所 施設課 | 担当 | 藤本 恭平 |

平成25年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会 発表リスト

7月23日(火) 第2会場【1306・1307会議室】

| 部門 | NO | 発表課題名 | 発表者 | | |
|------------------------------|----|--------------------------------------|-------------------------------------|---------|--------|
| | | | 所属 | 役職 | 氏名 |
| 一般部門(安全・安心に暮らせる四国づくり) | | | | | |
| 9:20~10:35 | | | | | |
| II-1 | | 無人化建設機械を活用した安全施工と土砂災害への活用の検討 | 四国地方整備局 河川部 河川計画課 調査第二係 | 調査第二係長 | 清水 正仁 |
| II-5 | | 斜面掘削時における地すべりとその対応に関する報告 | 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 工務課 工務係 | 係員 | 梶原 一慶 |
| II-9 | | 深層崩壊に備えた大規模土砂移動検知センサーの設置 | 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 調査課 砂防調査係 | 係員 | 四宮 隆司 |
| II-13 | | 斜面の転石・浮石の分布状況に応じた最適な落石対策工選定手法の報告 | 四国地方整備局 土佐国道事務所 計画課 | 係員 | 齋藤 裕太 |
| 10:45~12:00 | | | | | |
| II-17 | | 吉野川における水害リスク評価の中間報告 | 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課 計画係 | 係員 | 藤井 秀徳 |
| II-21 | | 霞堤開口部で生じる水理現象の実験報告 | 四国地方整備局 松山河川国道事務所 調査第一課 河川調査係 | 河川調査係長 | 矢野 泰敏 |
| II-25 | | 旧吉野川及び今切川における地震・津波対策の状況報告について | 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 旧吉野川出張所 技術係 | 技術係長 | 岡崎 真也 |
| II-29 | | 高知海岸仁ノ工区における地震・津波対策について | 四国地方整備局 高知河川国道事務所 工務第一課 海岸係 | 係員 | 田村 知泰 |
| 13:15~14:30 | | | | | |
| II-33 | | 鹿野川ダム改造事業の工事進捗状況(中間報告) | 四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所 | 建設監督官 | 吉岡 修一 |
| II-37 | | 鹿野川ダム改造事業における低水放流設備工事の概要報告 | 四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所 事業計画課 計画係 | 係員 | 上田 径 |
| II-41 | | プレロード盛土工法による宅地地盤安定化のための評価方法について | 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 工務第一課 河川工務係 | 河川工務係長 | 三國 宣仁 |
| II-45 | | 高知港における防波堤の災害復旧に関する報告 | 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所 工務課 工務係 | 係員 | 宮本 将平 |
| 14:40~15:35 | | | | | |
| II-49 | | 東南海・南海地震における樋門函体補強について | 四国地方整備局 高知河川国道事務所 工務第一課 河川工務係 | 河川工務係長 | 中村 伸輔 |
| II-53 | | 津波対策アクションプランについて | 四国地方整備局 中村河川国道事務所 調査課 計画係 | 係員 | 佐々木 惇郎 |
| II-57 | | 土佐国道の事業継続計画について報告 | 四国地方整備局 土佐国道事務所 防災情報課 | 係員 | 山内 貴雄 |
| 15:45~17:00 | | | | | |
| II-61 | | 海底地形探査装置(マルチビーム)を使用した開発保全航路の深淺測量について | 四国地方整備局 松山港湾・空港整備事務所 沿岸防災対策室 | 沿岸防災調査官 | 渡邊 辰也 |
| II-65 | | 重防食塗装橋梁の塗膜劣化特性について | 四国地方整備局 四国技術事務所 施工調査・技術活用課 技術活用係 | 技術活用係長 | 原田 孝 |
| II-69 | | 宇和島国道出張所管内の自動車専用道路における雪水対策について | 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 宇和島国道出張所 管理係 | 管理係長 | 中屋敷 誠司 |
| II-73 | | 国道32号 藤川橋の補修方法決定に至るプロセスについて | 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 道路管理第二課 維持修繕係 | 係員 | 田代 早紀 |

7月24日(水) 第2会場【1306・1307会議室】

| 部門 | NO | 発表課題名 | 発表者 | | |
|--------------------|----|-----------------------------------|------------------------------------|------|--------|
| | | | 所属 | 役職 | 氏名 |
| アカウントビリティ部門 | | | | | |
| 8:50~9:45 | | | | | |
| II-77 | | 気候変動に伴う那賀川での水問題を考える会 | 四国地方整備局 那賀川河川事務所 調査課 | 係員 | 八多 智史 |
| II-81 | | 「四万十の川づくり」地域連携・地域活性化の取組みについて | 四国地方整備局 中村河川国道事務所 後川出張所 | 出張所長 | 阿部 勝義 |
| II-85 | | 野村ダムにおける新たな広報活動への取り組み | 四国地方整備局 野村ダム管理所 管理係 | 管理係員 | 門田 修平 |
| 9:55~10:40 | | | | | |
| II-89 | | 四国版「東日本大震災を風化させないプロジェクト」の取り組み | 四国地方整備局 道路部 道路計画課 計画第二係 | 係員 | 松尾 怜 |
| II-93 | | 「道の駅」情報発信機能強化に向けての短期施策の導入および今後の展望 | 四国地方整備局 松山河川国道事務所 道路管理第二課 交通対策係 | 係員 | 高須賀 大祐 |

平成25年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会

【部門構成】

| 部 門 | 項 目 |
|--|---|
| <p>1.【イノベーション部門】</p> <p>社会資本施設整備に関連する諸課題の解決に資する、官や民間等で開発された設計・施工の優れた技術を公共事業において積極的に活用した事例等イノベーションに資する技術の取組等を発表するもの。</p> | <p>○新技術の公共事業での活用、設計・施工の新たな工夫等</p> |
| <p>2.【アカウントビリティ部門】</p> <p>公共事業の必要性や効果、合意形成等に関する取組のうち、国土交通行政と国民の距離を縮める観点で発表するもの。</p> | <p>○維持管理や災害対応に関する広報、合意形成、住民との協働、コミュニケーション等</p> |
| <p>3.【一般部門】</p> <p>現場等での創意工夫や独創性があり、今後の汎用性が見込まれる技術・業務を発表するもの。</p> <p>※イノベーション部門やアカウントビリティ部門に含まないもの。</p> | <p>3-1 安全・安心に暮らせる四国づくり ○減災、防災等</p> <p>3-2 交流・連携による活力ある四国づくり ○高規格道路整備、ITS、渋滞緩和、港湾・空港整備、物流等</p> <p>3-3 人と自然にやさしい四国づくり ○景観配慮、環境保全、交通安全、バリアフリー等</p> <p>3-4 業務改善等への取組 ○法令、用地取得、補償等、業務の改善、効率化、人材育成等に関わるもの</p> |